

保有銘柄開示による市場への影響に関する検証結果について

保有銘柄開示について

- GPIFは、運用に関する透明性をさらに高めるため、保有する全ての有価証券の銘柄名と保有額を平成28年7月29日（国内株式市場の取引終了後）に開示しました。
- GPIFが保有する国内株式については、その市場に占める保有比率が高いことを考慮し、開示情報を平成27年3月31日時点とした上で、GPIFの保有銘柄開示が市場に及ぼす影響の有無を検証し、この結果を踏まえて、次の銘柄開示を進めることとしています。

検証結果

- 市場全体の株価変動等を検証しましたが、GPIFの保有銘柄開示が及ぼす影響は確認されませんでした。
- また、個別銘柄の株価変動等も検証し、
 - ① 保有銘柄開示日と同日に日本銀行の金融政策決定会合があったことから、金利感応度の高い金融セクターの銘柄に大きな株価変動がみられたほか、
 - ② 保有銘柄開示日と同日が決算発表集中日となったことから、一部の決算発表銘柄に大きな株価変動がみられましたが、GPIFの保有銘柄開示が及ぼす影響は確認されませんでした。
- このほか、国内株式の運用受託機関に対するヒアリングにおいても、個別銘柄開示による影響は確認されませんでした。
- 以上の結果を受け、GPIFは、運用委員会での議論を経て、平成28年11月25日に、あらためて平成28年3月31日時点の保有銘柄を開示することとしました。